

株式会社 オーデック
サベット


作成日：2005年 4月 13日
改訂日：2010年 11月 8日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : サベット
会社名 : 株式会社 オーデック
住所 : 東京都大田区東馬込 2-19-10 第7下川ビル
担当部門 : 金属処理事業部
電話番号 : 03-3774-5259
FAX. 番号 : 03-3776-0881
推奨用途及び使用上の制限 : 酸性薬剤
普通薬品

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性
GHS分類
物理化学的危険性: 分類対象外
健康に対する有害性
急性毒性(経口) : 区分4 (11.有害性情報 参考)
急性毒性(経皮) : 区分5 (11.有害性情報 参考)
皮膚腐食性/刺激性 : 区分1A-1C (11.有害性情報 参考)
眼に対する重篤な損傷性/
眼刺激性 : 区分1 (11.有害性情報 参考)
特定標的臓器・全身毒性
(単回暴露) : 区分3(気道刺激性) (11.有害性情報 参考)
環境に対する有害性
水生環境有害性(急性) : 分類できない
GHSラベル要素
絵表示又はシンボル :  (11.有害性情報 参考)
注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
呼吸器系の障害(11.有害性情報 参考)
注意書き
安全対策 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
呼吸用保護具、保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面
を着用すること。
換気を良くして作業すること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
救急処置 : 火災の場合、本品は不燃性であるが、速やかに容器を
安全な場所に移す。移動できない場合、容器及び周辺
に散水して冷却する。
保管 : 直射日光を避け、冷暗所に保管すること。

廃棄 : 吸着物を焼却処理する、もしくは適切な産業廃棄物処理業者に依頼する。
 (注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「分類対象外」「区分外」である。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物製品

の区別 : 混合物
 官報公示整理番号(化審法) : (1)-422
 CAS No. : 7664-38-2
 成分及び含有量 : リン酸20 %未満
 界面活性剤 25 ~ 30 %
 水その他成分 50 ~ 55 %

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診断、手当を受ける。
 皮膚に付着した場合 : 汚れた服・靴を脱ぎ、皮膚を大量の水で洗い、直ちに医師の手当を受ける。
 目に入った場合 : 直ちに大量の水で15分以上洗い流す。きれいな指で裏をめぐって洗い流す。直ちに医師の手当を受ける。
 飲み込んだ場合 : 口腔内を大量の水で洗浄。無理に吐かせないこと。医師の手当を受ける。
 応急措置をする者の保護 : 汚染された衣類や保護具を取り除く。救助者が有害物質に触れないよう手袋を使用するなど注意する。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水・炭酸ガス・泡・ハロン等消火器
 火災時の特定危険有害性 : 粉塵や消火水に溶けた溶液は腐食性があるので、保護具を着用する。
 特定の消火方法 : 火災時、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。
 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
 保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
 環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
 除去方法 : 適当な保護具を着用してできるだけ空容器に回収する。場合によってはアルカリ性中和剤で注意深く中和し、その後を大量の水を用いて洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 酸性物質であり、アルカリと反応して発熱するので、アルカリとの接触を避ける。
- 安全取扱い注意事項 : 吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。屋内作業場における取扱い場所では局所排気装置を使用する。

保管

- 適切な保管条件 : 本品を他の容器に移し替えて保管しないこと。
他の薬剤と混ぜて保管しないこと。
直射日光、湿気を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。
- 安全な容器包装材料 : ポリエチレン、ポリプロピレン

8. 暴露防止措置

- 管理濃度 : 設定されていない
- 許容濃度 : 設定されていない
- 設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設けその位置を明瞭に表示する。

保護具

- 呼吸器の保護具 : 防塵マスク、空気呼吸器
- 手の保護具 : 保護手袋
- 目の保護具 : 保護眼鏡、ゴーグル型または全面保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣、保護長靴

9. 物理及び化学的性質

- 外観 : 青色微濁粘性液体
- 臭気 : 微酸臭
- pH : 2.10～2.30(10%水溶液)
- 融点 : 情報なし
- 沸点 : 情報なし
- 引火点 : 情報なし
- 爆発範囲 : 情報なし
- 蒸気圧 : 情報なし
- 蒸気密度 : 情報なし
- 比重 : 1.10 ～ 1.20
- 溶解度 : 水に溶解
- n-オクタノール/水分配係数 : 情報なし
- 自然発火温度 : 情報なし
- 分解温度 : 情報なし
- その他のデータ : 情報なし

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常安定、アルカリと中和発熱反応する。
- 危険有害反応可能性 : 酸と発熱反応。
- 避けるべき条件 : 保管時のアルカリとの接触
- 混融危険物質 : アルカリ類・金属類
- 危険有害な分解生成物 : 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口

: 成分; リン酸85%溶液を適用して、ラットD50: 1530mg/kg
1250mg/kgに基づき、区分4とした。

飲み込むと有害(経口)

経皮

: 成分; リン酸85%溶液を適用して、ウサギLD50: 2740mg/kg
に基づき、区分5とした。

皮膚腐食性・刺激性

: 成分; 24時間暴露の影響ではあるが、ウサギの皮膚にリン酸85%溶液を適用した試験において腐食性が認められたとの記述、及び0.1N水溶液のpHが1.5の強酸であることから、区分1A-1Cとした。

眼に対する重篤な

損傷・刺激性

: 成分; 皮膚腐食性であることから、区分1とした。
重篤な目の損傷。

呼吸器感作性又は

皮膚感作性

: 成分; データがなく分類できない。

生殖細胞変異原性

: 成分; データがなく分類できない。

発がん性

: 成分; データがなく分類できない。

生殖毒性

: 成分; データ不足のため、分類できないとした。

特定標的臓器・全身毒性

-単回暴露

: 成分; ミストは上気道に刺激的である事から、区分3とした。

特定標的臓器・全身毒性

-反復暴露

: 成分; データがなく分類できない。

吸引性呼吸器有害性

: 成分; データがなく分類できない。

12. 環境影響情報

残留性・分解性

: 情報なし。

生体蓄積性

: 情報なし。

土壌中の移動性

: 情報なし。

水生環境急性有害性

: データ不足のため分類できない。

水生環境慢性有害性

: データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

: 吸着物を焼却処理する。
中和処理; 水を加えて希薄な水溶液とし、アルカリ性中和剤で中和した後、大量の水で希釈する。
適切な産業廃棄物処理業者に依頼し、定められた収集・運搬処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

リン酸として

国連番号

: 成分; 1805

品名(国連輸送名)

: 成分; リン酸

国連分類

: 成分; クラス8

容器等級

: 成分; III

海洋汚染物質

: 非該当

備考 日本国内規制

: 労働安全衛生法、海洋汚染防止法、危規則、航空法

注意事項

: 運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

15. 適用法令	リン酸として
消防法	: 該当なし
毒物及び劇物取締法	: 該当なし
労働安全衛生法	: 成分; 名称等を通知すべき有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)(政令番号 第618号)、
危規則	: 成分; 腐食性物質(危規則第2,3条危険物告示別表第1)
航空法	: 成分; 腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
船舶安全法	: 成分; 腐食性物質(危規則第2,3条危険物告示別表第1)
道路法	: 該当なし

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できた資料・情報・データなどに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。

ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。

また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。 記載内容は新データなどによって変更することがあります。